

# 向学館通信

2010・3・26

## 春休みを有効に活用しよう。

春休み中に、後れた科目、成績の良くなかった科目をやりなおしましょう。新学年の先取り学習もしておきたいです。

★自習に来てください。家で何もしない、無駄な時間をすごしている、などの生徒は、塾で自習を！

## 中3生は、全員、志望する高校に入学しました。おめでとう！

(以下の学校は、合格した学校ではなく、入学校だけを書いています)

公立・鴨沂高校・Ⅱ類(1名)、 洛北高校・Ⅰ類(1名)

北稜高校・Ⅰ類(2名)、 桂高校・園芸ビジネス(1名)

私立・成章高校・アカデミーAS(1名)、 京都産業大学附属高校・進学(2名)

大谷高校・インテグラル(1名)、 京都学園・国際ICT(1名)

## 数学はむずかしい学科ではない。春休みに基礎固めを！

中学生で、数学の点数が50点以下の場合、たいてい小学校のレベルのどこかがわかっていないのです。例えば、計算問題では分数や小数の計算がうまくできないなどの基礎的なレベルの欠陥があります。こういう人は、小学校5年生ぐらいの時の学習が身につけていないのです。中3生で50点以下だと、以上の問題に加えて中1レベルの「正負の数」や「文字式」あたりの基礎ができていないことが多いです。

「数学ができない」と思っている人は、「できない」のではなく、基礎的な部分のどこかが抜けているのです。だから、どこの部分が未消化なのかを調べて、未消化のところを徹底的に解決していけば大きく伸びます。その間は、学校で進んでいる学習にかまっていられなくても、基礎固めを優先した方が得です。先々での伸び方が全く違ってきます。

数学は、小さな約束事の積み上げですから、約束事が忘れられれば、成り立ちません。個々の約束自体はむずかしいものではありません。点数の低い人は、たいてい計算練習が少ないためにあれこれの「約束」を忘れるのです。むずかしいからではありません。

**数学ができないのは、頭がわるいからだと思えるのは、大きな間違いです。**頭がわるいのではなく、基礎の部分を受得しないままにしているからです。これまでも、春休みを十分に利用して、数学が大幅に伸びた人が何人もいます。基礎を固める努力が大きな力になります。

70点台は取れるがそれ以上は取れない、という人は、基礎はできているが応用問題や文章題が苦手ということでしょう。こういう人は、「割合」「速さ」「単位量あたり」などの小学生レベルの文章題ができないことが多いようです。図形問題でも、扇形の面積ができないなど、やはり小学生レベルのところから抜けていることがあります。90点を目指すには、文章題、応用問題の基本を身につけなければなりません。これも、むずかしいのではなく、「むずかしい」と思い込んで敬遠してきた人が多いようです。

100点を目指す人は、計算問題などはあまりやる必要はありません。難問に時間をかけて自分の力で解いていく努力が必要です。難問といわれるレベルでは、たくさんの要素が1つの問題の中に入っていて、それらを正確に読み取り、解決の道を探ることが求められます。このレベルに達するには、易しい問題をいくらやっても無駄です。

## 塾へ自習に来させてください。

家で「勉強しなさい」といっても勉強しないのは、勉強の仕方がわからないからです。学校での授業についていけなくなった人は、教科書を開いて今やっているところを見てもわからないのですから、勉強になりません。だからこそ、塾があるのです。

向学館では、塾へ来て自習することを勧めています。学習方法の指示はしますし、集中できます。最近、自習に来る人が減ってきています。「すらら」という自習用のパソコン教材もあります。また、アロックワークという英語のパソコン教材もあります。自習には、これらの教材の活用をお勧めします。(「すらら」は有料、「アロックワーク」は無料です。)